

福岡県認知症介護実践リーダー研修 平成30年度実施状況

(認知症福岡県社会福祉協議会委託事業)

認知症介護実践リーダー研修の目的は、実践研修で得られた知識・技術をさらに深め、施設・事業所において、ケアチームを効果的・効率的に機能させる能力を有した指導者を養成することを目的として実施された。

この研修のねらいは、①研修の目的と目標を確認し自分自身の目標を見つけ、意味付けを考える。②カリキュラムがどのように立てられているかを理解し、研修の方向性を明確にする。③研修を通して、良い情報交換の場、ネットワークづくりの場に活用できる。④研修の機会を、主体的、積極的に自分の学習の場として活用できるよう取り組むことが出来るようになる。

研修期間は、講義演習 10 日間（9月6日（木）～12月18日（火））。他施設実習（11月15日（木）～12月17日（月））の3日間、受け入れ施設6施設。自施設実習18日間は、職場において、自己の設定した課題の達成を目指し、実習を行う。

今年度は、認知症介護実践リーダー研修新カリキュラムを、福岡県認知症介護指導者で、研修各単元を担った。

10日間の講義・演習では、認知症介護実践リーダー研修の理解から始まり、リーダーの役割、ケア理念の構築方法・生活支援のための認知症介護の在り方・人材育成のための技法・権利擁護などの内容であった。今年度も、理念の構築の演習では、研修生の仲間づくりとチームで理念の構築に取り組んだ。実施していく中で互いの考え方を伝えることや、相互の協力を持って理念をつくり上げていた。多くの受講生が積極性や責任感を持てる場面が見られた。また、介護現場の介護理念の必要性、大切さを理解できた研修であったように思える。

他施設実習・自施設実習と、どの受講生も研修での講義・演習で学んで得た知識を活かし、現場の認知症介護の課題を見出し、目標を持って実習に臨んでいた。実習受入施設である富の里では、23名の研修生を受け入れた。

3日間の他施設実習期間では、実習施設の職場環境や認知症介護の場面を観察し、自施設の職場環境との相違を感じたのではないかとと思われる。

リーダー研修の講義・演習で学んだ認知症介護の知識・技術、他施設実習での学びや気づきが、今後自施設での認知症介護の指導的役割を担い、発揮される事と思う。

また、他施設職員と意見を出し合い、それぞれの考え方や知識を得た事は、今後の認知症介護に活かして行けることと思われる。

① 所属施設種別人数（富の里施設実習者）

所属施設	人数
特別養護老人ホーム	8名
老人保健施設	4名
小規模多機能	1名
グループホーム	7名
通所介護	1名
介護療養・特定施設	2名

② 講義・実習

講義・実習 （種別）	期間 （日数）	会場	住所
講義・実習	10日間	グローバープラザ	福岡県春日市原町3-1-7
実習	3日間	富の里	福岡県糸島市富508-4
自職場実習	18日間	各所属施設	

③ 実習

実施回数	受講者数	実習期間
1回目	6名	平成30年11月18日（火）～11月20日（木）
2回目	6名	平成30年11月26日（月）～11月28日（水）
3回目	6名	平成30年12月1日（土）～12月3日（月）
4回目	5名	平成30年12月6日（木）～12月8日（土）